

平成15年度(2003年度)予算の主要な施策

平成15年度(2003年度)の当初予算は、2月に市長の任期が満了するため市政の政策的な方向付けは新たな市民の負託のもとに行うという考え方に配慮しつつ、現下の厳しい経済情勢・雇用環境やそれに対する国の対応等を踏まえ、市民生活の安定や実施計画に掲げられている事業の着実な実行を重視して編成した。このため、更なる新たな施策について、今後検討の上、6月以降の議会において追加提案を行う予定である。

また、本予算は、市税収入の6年連続の減少が見込まれるなど極めて厳しい財政状況の中で、財政健全化計画を念頭に置きながら、限られた財源を重点的・効率的に配分するよう努めて編成したものであり、主要な施策は以下のとおりである。

主要な施策の柱

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1. 景気・雇用対策 | 4. 都市基盤整備・まちづくり |
| 2. 福祉・医療、環境 | 5. 平和 |
| 3. 教育 | |

1. 景気・雇用対策

厳しさを増す経済情勢を踏まえ、中小企業金融対策、地場の中小企業向けの事業、雇用対策を実施するとともに、これからの広島経済を活力あるものとするため、新たな産業の創造等に取り組む。

(1) 中小企業金融対策

- ・融資枠の確保(539億円) 194億3,000万円
- ・貸出利率の引下げ(全制度一律0.1%の引下げ。さらに、創業支援資金融資については0.3%の追加引下げ。)
- ・新 新分野進出支援融資・創業支援資金融資における特別資金(貸出利率1.0%)の創設

(2) 地場の中小企業向け事業

- ・生活道路、公民館等の市民生活密着型の公共施設の一般整備、一般補修 108億8,466万3千円
- ・下水道の面整備 129億8,700万円

(3) 雇用対策	
・ 新 雇用相談の実施	10 万円
・ 緊急地域雇用創出特別交付金事業	5 億 3,031 万 8 千円
(4) 新産業政策に基づく諸施策の展開	
・ 新 新開発商品市場開拓事業（見本市等出品補助）	100 万円
・ 新 産学官共同研究開発補助	2,000 万円
・ 新 技術開発産学官連携促進事業	171 万 8 千円
・ 新 広島 T L O 事業に対する補助	200 万円
・ 新 財団法人「ひろしまベンチャー育成基金」 に対する出えん	400 万円
・ 中小企業支援センターの運営	4,038 万 1 千円
・ サービス産業人材育成支援事業	20 万円
(5) 自動車関連産業の活性化	
・ 新 自動車デザイン関連企業の新規受注等支援	309 万円
・ 自動車部品関連企業の新規受注等支援	166 万 8 千円

2 . 福祉・医療、環境

急速に進む少子高齢社会への対応として、子育て支援や介護予防、健康づくりなどに積極的に取り組むとともに、障害者福祉における支援費制度の円滑な実施に努める。また、環境の保全とゼロエミッション社会の実現を目指して、各種施策を推進する。

(1) 子育て支援の充実	
・ 開所時間延長及び延長保育の拡充	8 億 1,636 万 2 千円
・ 保育所の新設・増築	2 億 8,462 万 6 千円
・ 新 私立幼稚園預かり保育事業費補助	2,892 万 5 千円
・ 地域子育て支援センター事業	6,334 万 5 千円
・ 舟入・こども病院整備	7,627 万 9 千円
(2) 介護予防、健康づくり	
・ 新 老人クラブ連合会健康増進教室 事業費補助	728 万 8 千円
・ 元気じゃけんひろしま 2 1 推進事業	364 万 6 千円
(3) 支援費制度の円滑な実施	
・ 居宅生活支援	13 億 1,599 万 3 千円
・ 施設訓練等支援	36 億 1,075 万 5 千円

・新 障害者ケアマネジメント実施事業	184万8千円
・新 市町村障害者生活支援事業	1,429万2千円
・新 指定事業者等ホームヘルパー研修事業	28万8千円
(4) 環境の保全とゼロエミッション社会への取組み	
・ゼロエミッションシティ推進協議会の運営	344万7千円
・総合環境アセスメント制度の検討	426万4千円
・プラスチックリサイクルPR推進事業	5,700万円
・地球温暖化対策の推進	421万4千円

3. 教育

21世紀教育改革推進総合プラン検討会議の提言を踏まえ、広島らしい新しい教育を推進するとともに、いじめ、不登校問題の解決に引き続き取り組む。また、暴走族対策を総合的、積極的に推進する。

(1) 新しい教育の推進	
・自然体験活動事業	6,231万円
・中学校運動部活動活性化支援事業	346万円
・基礎学力向上推進事業	663万7千円
・広島市学校評価システムの確立	73万2千円
・学校チャレンジ21推進事業	4,829万2千円
(2) 学校教育の充実	
・学校フレッシュアシスタント雇用事業	1億9,958万円
・学校図書館事務サポート事業	4,032万1千円
・養護学校医療的ケア実践研究事業	596万6千円
・新 市立養護学校児童生徒の地域活動の推進	220万円
(3) いじめ・不登校対策等の充実	
・いじめ・不登校等総合支援事業	1億740万3千円
・スクールサポート推進事業	138万円
・スクールカウンセラー活用事業	6,418万9千円
(4) 暴走族対策の総合的な推進	
・新 暴走族追放のための広報・啓発活動の推進	102万5千円
・新 まちぐるみ暴走族対策事業の推進	269万7千円
・新 広島市暴走族加入防止・離脱相談センターの設置・運営	1,472万8千円

4. 都市基盤整備・まちづくり

多心型都市づくりや交通体系の整備など中四国の中枢都市にふさわしい都市基盤整備を推進するとともに、市民と行政が一体となったまちづくりに取り組む。

(1) 多心型都市づくりの推進

・貨物ヤード跡地地区開発の推進	1,450万5千円
・広島駅北口地区整備の推進	3,410万円
・広島駅南口周辺地区市街地再開発	1億635万8千円
・大手町四丁目1番地区市街地再開発	6億300万円
・緑井駅周辺地区市街地再開発	9億5,090万円
・横川駅前広場整備	6億2,700万円
・西広島駅北口地区のまちづくりの推進	1,663万7千円
・新「水の都ひろしま」構想の推進	2,230万円

(2) 交通体系の整備

・広島高速道路の建設	116億9,200万円
・都心商業地区における歩行者と自転車の共存化に関する社会実験	2,000万円
・新交通ネットワークの整備	82万1千円

(3) 快適な生活環境の整備

・新たな公園構想の推進	2,460万円
・公共下水道整備	286億9,587万4千円

(4) まちづくりの推進

・まちづくり活動の推進	170万4千円
・区の魅力づくり事業	7,810万円

5. 平和

21世紀に核兵器のない世界を実現するため、被爆体験の意味を再確認し、人類全体の遺産として継承するなど、ヒロシマならではの平和への取組みを推進する。

・「広島・長崎講座」開設・普及に向けた調査・研究	1,041万円
・「広島・長崎講座」設置協力プログラム	138万9千円

・アクション21「核兵器保有国への平和メッセージの伝達」	292万円
・ヒロシマ・ナガサキ原爆展の開催	669万2千円
・平和記念資料館展示事業（「原爆投下理由に関する展示」の更新）	1,297万円
・国内ジャーナリスト研修	49万5千円
・中・高校生ピースクラブの開催	32万円
・ヒロシマ・ピースフォーラムの開催	155万3千円